

# アナログ機能

概要・基本設定	3
おもな機能	3
外線通話	3
発信	4
着信	4
内線通話	5
アナログポートの番号と内線番号	6
通話中転送	6
自動着信転送	6
ピックアップ	7
保留	7
制限ダイヤル	7
優先発信	8
短縮ダイヤル	8
通話記録	10
B チャンネル予約機能	10
コールバンピング	10
リダイヤル	10
ホットライン（自動ダイヤル）	10
プレフィックス設定	10
アナログポートに接続する機器の情報	11
コマンドリファレンス編	13
機能別コマンド索引	13
ADD PBX BAR	14
ADD PBX EXTENSION	15
ADD PBX GROUP	17
ADD PBX OVERRIDE	18
ADD PBX SHORTCODE	19
CREATE PBX EXTENSION	20
CREATE PBX GROUP	23
DELETE PBX BAR	25
DELETE PBX EXTENSION	26
DELETE PBX GROUP	27
DELETE PBX OVERRIDE	28

DELETE PBX SHORTCODE . . . . .	29
DESTROY PBX EXTENSION . . . . .	30
DESTROY PBX GROUP . . . . .	31
DISABLE PBX DEBUG . . . . .	32
ENABLE PBX DEBUG . . . . .	33
SET PBX . . . . .	34
SET PBX EXTENSION . . . . .	36
SET PBX GROUP . . . . .	39
SHOW PBX . . . . .	41
SHOW PBX CALL . . . . .	44
SHOW PBX EXTENSION . . . . .	45
SHOW PBX GROUP . . . . .	48

## 概要・基本設定

AR300 V2 のアナログポートには、電話機、FAX、モデムなどのアナログ通信機器を接続することができます。ルーターが ISDN 網と接続されている場合、アナログ機器から ISDN 網経由で発信・着信が可能です。アナログポートの制御は PBX モジュールによって行われます。以下、PBX モジュールの各種機能について説明します。

- ✧ アナログポートでは、トーン（プッシュボタン）方式のアナログ機器しか使用できません。アナログ機器に切替スイッチ等がある場合は、ダイヤル方式がトーンになっているか確認してください。ダイヤル方式にはトーンとパルスがあります。
- ✧ PBX モジュールの設定も、他の設定と同じように保存しないと再起動によって失われます。設定を変更した場合は、CREATE CONFIG コマンド（「運用・管理」の 132 ページ）で設定をファイルに保存し、SET CONFIG コマンド（「運用・管理」の 253 ページ）で起動時に設定ファイルが読み込まれるよう設定してください。詳細は「運用・管理」の「コンフィグレーション」をご覧ください。

## おもな機能

PBX モジュールには次のような機能があります。

- 外線通話：ルーターが ISDN 網に接続されている場合、アナログポートから外線への発信、外線からアナログポートへの着信が可能です。
- 着信番号設定：ダイヤルインサービスなどを使用して、アナログポート間の鳴り分けが可能です。また、サブアドレスによる鳴り分けも可能です。
- 内線通話：アナログポートに接続された機器同士で通信できます。
- 通話中転送：通話中に別の内線（アナログポート）への転送ができます。
- 自動着信転送：応答がなかったとき、通話中だったとき、即時などさまざまな条件で自動転送ができます。
- ピックアップ：別の内線にかかってきた電話をとることができます。
- 保留：通話中に一時保留ができます。
- 制限ダイヤル：アナログポートから特定の外線番号への発信を禁止できます。
- 短縮ダイヤル：電話番号を登録して 2 桁の番号で発信できます。
- 通話記録：通話状況をコールログに記録できます。
- B チャンネル予約機能：2 本の B チャンネルのうち 1 本を通話専用、もう 1 本をデータ通信専用に設定できます。
- 優先発信：特定の番号（緊急番号など）へのダイヤルについては、他の通信を切断してでも発信させることができます。
- コールバンピング：2B 使用中に電話がかかってきた場合、データ通信を 1B 切断して着信させることができます。
- リダイヤル：直前にかけた電話番号を記憶しておき、簡単な操作で再ダイヤルできます。
- ホットライン：受話器を上げると決められた番号に自動的にダイヤルするよう設定できます。
- プレフィックス設定：外線発信の「0」、短縮ダイヤルの「3」など、受話器をとって最初にダイヤルする機能番号（プレフィックス＝先頭番号）を自由に設定できます。

## 外線通話

### 発信

外線に発信するには、外線発信番号に続けて電話番号をダイヤルし、最後に「#」をダイヤルします。ご購入時の外線発信番号は「0」です。この場合、1234-5678 に電話をかけるには、「0 12345678 #」とダイヤルします。

外線発信の「0」と電話番号の終わりを示す「#」を省略できるようにするには、SET PBX EXTENSION コマンド (36 ページ) の AUTODIAL、TERMINATE パラメーターを使います。AUTODIAL パラメーターはオフフック (受話器を上げること) 時に自動入力する番号を示すものです。また、TERMINATE パラメーターは、PBX が実際に発信するまでの待ち時間を示すもので、電話番号入力後 TERMINATE 秒入力がないときに発信します。

```
SET PBX EXTENSION=0 AUTODIAL=0 TERMINATE=5 ↵
```

外線発信番号は SET PBX コマンド (34 ページ) の EXTERNAL パラメーターで変更することができます。

### 着信

外線からの着信については、特殊な操作は必要ありません。電話が鳴ったら受話器を取るだけです。ご購入時の状態では、外線着信時には両方のポートの電話機が鳴ります。

なお、以下の着信番号設定を行うことにより、着信時に片方のポートだけを鳴らすよう設定することもできます。

### ダイヤルイン

ダイヤルインは、通常の電話番号 (加入者回線番号) に加えて、追加の電話番号 (ダイヤルイン番号) を取得できる付加サービスです。ダイヤルインを契約すれば、どちらの番号にかかってきたかにより、アナログポート 0 と 1 のどちらか一方だけを鳴らすことができます。ダイヤルインによる鳴り分けは、発信側が ISDN 網を使っている、アナログ公衆網を使っている関係なく利用できます。

ダイヤルインサービスの契約には、「グローバル着信なし」と「グローバル着信あり」の 2 種類があり、それぞれ設定が異なります。

以下、それぞれの設定方法を示します。以下の説明では、契約番号とアナログポートの割り振りを次のとおりであると仮定します。

- 加入者回線番号 : 03-1234-1111 (アナログポート 0)
- ダイヤルイン番号 : 03-1234-2222 (アナログポート 1)

「グローバル着信なし」の場合、加入者回線番号、ダイヤルイン番号のどちらにかかってきた場合であっても、発信者がダイヤルした番号 (着番号) が ISDN 網からルーターに通知されてきます。PBX モジュールはこれを利用してポート間の鳴り分けをします。SET PBX EXTENSION コマンド (36 ページ) で次のように設定してください。

```
SET PBX EXTENSION=0 NUMACCEPT=1111 ↵
SET PBX EXTENSION=1 NUMACCEPT=2222 ↵
```

EXTENSION パラメーターにはアナログポートに対応する内線番号を指定し、NUMACCEPT パラメーターには該当ポートで着信させる電話番号を指定します。電話番号のチェックは番号の末尾から先頭に向かって行われるので、異なる部分だけを指定すれば十分です（すべて指定してもかまいません）。

「グローバル着信あり」の場合、ダイヤルイン番号にかかってきたときはダイヤルイン番号が通知されますが、加入者回線番号にかかってきたときは着番号が通知されません。この場合、NUMACCEPT パラメーターに NOTPRESENT（着番号が通知されていない）を指定することにより、加入者回線番号への着信であることを識別できます。次のように設定してください。

```
SET PBX EXTENSION=0 NUMACCEPT=NOTPRESENT ↵
SET PBX EXTENSION=1 NUMACCEPT=2222 ↵
```

### サブアドレスによる着信鳴り分け

ISDN 端末同士の通信では、発信側が指定したサブアドレスによってポート間の鳴り分けができます。この場合、電話番号は 1 つだけでも鳴り分けが可能です。

ポートのサブアドレスは、SET PBX EXTENSION コマンド（36 ページ）の SUBACCEPT パラメーターで指定します。サブアドレスは 1～6 文字の数字で指定します。

```
SET PBX EXTENSION=0 SUBACCEPT=001 ↵
SET PBX EXTENSION=0 SUBACCEPT=002 ↵
```

また、サブアドレスの指定では、ワイルドカード文字としてアルファベットの「X」または「x」を使えます（大文字・小文字はどちらも同じ意味です）。X と x は、その部分にどの数字が来てもよいことを示します。たとえば次の例は、サブアドレスとして 30～39 のどれかが指定された場合にポート 0 の機器を鳴らす設定です。

```
SET PBX EXTENSION=0 SUBACCEPT=3X ↵
```

- ㄨ サブアドレスによる鳴り分けは、発信側が ISDN 網を使っているときだけ使用できます。
- ㄨ サブアドレスによる鳴り分けが機能するためには、発信側が電話番号だけでなく、サブアドレスも入力する必要があります。

## 内線通話

別の内線（アナログポート）に電話をかけるには、内線発信番号に続けて内線番号をダイヤルします。ご購入

入時の内線発信番号は「4」です。この場合、アナログポート 1 に対して発信するには、「41」とダイヤルします。

内線発信番号は SET PBX コマンド (34 ページ) の INTERNAL パラメーターで変更することができます。

### アナログポートの番号と内線番号

アナログポートは、0、1 の番号で識別されます。ご購入時には、内線番号はアナログポートの番号と同じに設定されていますが、内線番号自体はポート番号と一致させる必要はありません。コマンド設定により 3 桁の数字の範囲で自由に変更できます。

内線番号の変更は CREATE PBX EXTENSION コマンド (20 ページ) で行います。EXTENSION パラメーターに内線番号を、PORT パラメーターにアナログポートの番号を指定してください。下のコマンドを実行すると、アナログポート 0 の内線番号が 100 に変更されます。

```
CREATE PBX EXTENSION=100 PORT=0 ↵
```

### 通話中転送

通話中に別の内線番号 (アナログポート) に転送するには、いったん通話を保留にしたあと、内線発信番号、内線番号の順にダイヤルし、受話器を置きます。

### 自動着信転送

自動着信転送は、かかってきた電話を別の番号に転送する機能です。転送先は外線、内線のどちらでもかまいません。転送条件を以下から選択できます。

- 即時転送 (IMMEDIATE): かかってきたらすぐに転送します。
- 通話中転送 (BUSY): 話中だった場合にのみ転送します。
- 不在転送 (NOANSWER): 一定時間電話に出なかったときに転送します。
- 通話中・不在転送 (NOREPLY): 話中か一定時間電話に出なかったときに転送します。

着信転送の設定は、コマンドで行うことも、アナログポートに接続された電話機から行うこともできます。

コマンドラインから着信転送の設定を行うときは、SET PBX EXTENSION コマンド (36 ページ) を使います。設定は、内線 (アナログポート) ごとに行います。DIVERT パラメーターで転送条件を指定し、NUMBER パラメーターで転送先を指定します。

```
SET PBX EXTENSION=0 DIVERT=IMMEDIATE NUMBER=0312346789 ↵
```

設定を解除するには、SET PBX EXTENSION コマンド (36 ページ) の DIVERT パラメーターに NONE を指定します。

```
SET PBX EXTENSION=0 DIVERT=NONE ↵
```

電話機から設定するときは、次の手順にしたがいます。

1. 設定したいポートに接続された電話機の受話器を上げます。
2. 着信転送設定番号「5」をダイヤルします。
3. 転送条件をダイヤルします。即時転送は「3」、通話中転送は「2」、不在転送は「4」、通話中・不在転送は「1」です。
4. 転送先の番号をダイヤルします。内線発信番号、外線発信番号、入力終了の「#」なども含めて入力してください。
5. 受話器を置いて設定を完了します。

電話機から設定を解除するには、受話器をとって、着信転送設定番号の「5」、解除の「0」の順にダイヤルします。

## ピックアップ

ピックアップとは、別の内線にかかってきた電話をとることです。次の手順で操作します。

1. 鳴っていないほうの電話機の受話器を取ります。
2. ピックアップ番号をダイヤルします。ご購入時は「6」に設定されています。

ピックアップ番号は SET PBX コマンド (34 ページ) の PICKUP パラメーターで変更することができます。

## 保留

通話を一時保留するには、受話器を置くフックスイッチを 0.5 秒ほど押して離します。保留を解除するには、再度フックスイッチを 0.5 秒ほど押して離します。

## 制限ダイヤル

制限ダイヤル機能は、特定の番号への発信を禁止する機能です。

内線（アナログポート）ごとに禁止する番号を設定するときは、ADD PBX EXTENSION コマンド (15 ページ) の BAR パラメーターを使います。EXTENSION パラメーターに指定したポートからは、BAR パラメーターに指定した数字列で始まる番号への発信ができなくなります。この例では、「0990」で始まる番号への発信を禁止しています。先頭の「0」は外線発信番号の「0」です。外線発信番号を変更している場合は、変更後の番号を指定してください。

```
ADD PBX EXTENSION=0 BAR=00990 ↵
```

すべてのアナログポートを対象にして禁止する番号を設定するときは、ADD PBX BAR コマンド (14 ページ) を使います。

```
ADD PBX BAR=00990 ↵
```

※ BAR パラメーターに指定する番号には、外線発信番号（ご購入時は「0」）も含めてください。

禁止番号を削除するには、DELETE PBX EXTENSION コマンド (26 ページ) の BAR パラメーターが

DELETE PBX BAR コマンド (25 ページ) を使います。

## 優先発信

特定の番号 (緊急番号など) へのダイヤルについては、設定されている禁止番号にマッチしても、B チャンネルに空きがなくても、優先的に発信させるよう設定することができます。

内線 (アナログポート) ごとに優先番号を設定するときは、ADD PBX EXTENSION コマンド (15 ページ) の OVERRIDE パラメーターに番号を指定します。OVERRIDE パラメーターで指定した数字列で始まる番号が優先発信の対象となります。次の例では、0990 で始まる番号への発信が禁止されていることを前提に、特例として 0990-123-123 への発信を許可しています。

```
ADD PBX EXTENSION=0 OVERRIDE=00990123123 ↓
```

さらに、PRIORITY パラメーターを併用すると、B チャンネルが 2 本とも使用中だった場合に、どちらかのチャンネルを強制的に切断し、優先番号への発信ができるようになります。

```
ADD PBX EXTENSION=0 OVERRIDE=119 PRIORITY=HIGH ↓
```

すべてのアナログポートを対象にして優先番号を設定するときは、ADD PBX OVERRIDE コマンド (18 ページ) を使います。

```
ADD PBX OVERRIDE=119 PRIORITY=HIGH ↓
```

〳 OVERRIDE パラメーターに指定する番号には、外線発信番号 (ご購入時は「0」) も含めてください。

優先番号を削除するには、DELETE PBX EXTENSION コマンド (26 ページ) の OVERRIDE パラメーターか DELETE PBX OVERRIDE コマンド (28 ページ) を使います。

## 短縮ダイヤル

短縮ダイヤルは、電話番号をあらかじめ登録しておき、2 桁の短縮番号で発信する機能です。

短縮ダイヤル番号には、ポートごとに設定できるプライベート番号と、すべてのポートで共通に使えるパブリック番号があります。

プライベート番号は各ポートに接続された電話機から設定します。設定内容は、コンソール側で保存の操作をしない限り、ルーターを再起動すると消えてしまいます。また、プライベート番号は、コマンド操作で設定することもできます。

パブリック番号はルーターのコンソールからしか設定できません。設定内容は、CREATE CONFIG コマンド (「運用・管理」の 132 ページ) で保存し、SET CONFIG コマンド (「運用・管理」の 253 ページ) で起動時に読み込まれるよう設定することにより、再起動後も有効になります。

プライベート番号を電話機から設定するには、次のようにします。

1. 受話器を取ります。
2. 短縮ダイヤル設定番号をダイヤルします。ご購入時は「3」に設定されています。
3. 00～19 の範囲の短縮番号を入力します。1 桁の番号でも、最初に「0」を付けて 2 桁で入力してくだ

さい。

4. 登録する電話番号を入力します。内線の場合は内線発信番号（ご購入時は「4」）に続けて内線番号を、外線の場合は外線発信番号（ご購入時は「0」）に続けて外線番号を入力し、最後に入力完了の「#」を入れてください。
5. 受話器を置いたら設定完了です。

プライベート番号をコマンドラインから設定するには、ADD PBX EXTENSION コマンド（15 ページ）を使います。SHORTCODE パラメーターに短縮番号（0～19）を、NUMBER パラメーターに電話番号（外線発信番号を含む）を指定してください。オプションとして、NAME パラメーターで短縮番号に名前を付けることもできます。

```
ADD PBX EXTENSION=0 SHORTCODE=0 NUMBER=00312341234 NAME="office" ↵
```

プライベート番号を使って発信するには、次のようにします。

1. 受話器を取ります。
2. プライベート短縮発信番号をダイヤルします。ご購入時は「1」に設定されています。
3. 短縮番号（00～19）を2桁で入力します。
4. 発信します。

プライベート番号は、SHOW PBX EXTENSION コマンド（45 ページ）で確認できます。

プライベート短縮発信番号はSET PBX コマンド（34 ページ）のPRIVATE パラメーターで変更することができます。

パブリック番号は、ADD PBX SHORTCODE コマンド（19 ページ）で設定します。SHORTCODE パラメーターに短縮番号を、NUMBER パラメーターに電話番号（外線発信番号を含む）を指定してください。オプションとして、NAME パラメーターで短縮番号に名前を付けることもできます。パブリック番号の範囲は0～999ですが、実際に指定できる範囲はSET PBX コマンド（34 ページ）のNUMPUBLICDIGITS パラメーター（パブリック番号の桁数）の設定によって異なります。ご購入時にはNUMPUBLICDIGITS パラメーターは2（桁）に設定されているため、パブリック番号は0～99の範囲で指定できます。

```
ADD PBX SHORTCODE=10 NUMBER=00398765432 NAME="Home" ↵
```

パブリック番号の桁数を変更するには、SET PBX コマンド（34 ページ）を使います。NUMPUBLICDIGITS パラメーターに桁数を1～3の範囲で指定してください。ご購入時は2です。

```
SET PBX NUMPUBLICDIGITS=3 ↵
```

パブリック番号を使って発信するには、次のようにします。

1. 受話器を取ります。
2. パブリック短縮発信番号をダイヤルします。ご購入時は「2」に設定されています。
3. 短縮番号をNUMPUBLICDIGITS パラメーターに設定されている桁数で入力します。
4. 発信します。

パブリック番号は、SHOW PBX コマンド（41 ページ）で確認できます。

パブリック短縮発信番号は SET PBX コマンド (34 ページ) の PUBLIC パラメーターで変更することができます。

## 通話記録

通話状況をログに記録できます。通話記録は SHOW PBX CALL コマンド (44 ページ) で確認できます。

## B チャンネル予約機能

B チャンネル予約機能は、2 本の B チャンネルのうち 1 本を通話専用、もう 1 本をデータ通信専用に設定する機能です。B チャンネル予約機能を有効にすると、音声通話とデータ通信にそれぞれ 1 チャンネルずつが固定的に割り当てられ、同種の呼が両方のチャンネルを占有することを防ぎます。

B チャンネル予約機能の有効化・無効化には、SET PBX コマンド (34 ページ) の RESERVEBCHANNEL パラメーターを使います。

```
SET PBX RESERVEBCHANNEL=ON ↵
```

## コールバンピング

2B 使用中に電話がかかってきた場合、データ通信を 1B 切断して着信させることができます。詳細は「ISDN」の章をご覧ください。

## リダイヤル

リダイヤル (再ダイヤル) は、直前にかけた電話番号を記憶しておき、簡単な操作で同じ番号に発信できる機能です。

リダイヤルするには、受話器をとりあげ、リダイヤル番号をダイヤルします。ご購入時は「7」に設定されています。

リダイヤル番号は SET PBX コマンド (34 ページ) の REDIAL パラメーターで変更することができます。

## ホットライン (自動ダイヤル)

受話器を上げると決められた番号に自動的にダイヤルするよう設定できます。

自動ダイヤルの設定は、SET PBX EXTENSION コマンド (36 ページ) の AUTODIAL、TERMINATE パラメーターで行います。AUTODIAL パラメーターはオフフック (受話器を上げること) 時に自動入力する番号を示すものです。また、TERMINATE パラメーターは、PBX が実際に発信するまでの待ち時間を示すもので、電話番号入力後 TERMINATE 秒入力がないときに発信します。

```
SET PBX EXTENSION=0 AUTODIAL=00312342345 TERMINATE=5 ↵
```

## プレフィックス設定

外線発信の「0」、短縮ダイヤルの「3」など、受話器をとって最初にダイヤルする機能番号を「プレフィックス」(先頭番号)と呼びます。プレフィックスはSET PBX コマンド(34 ページ)で変更できます。デフォルトのプレフィックス設定と、SET PBX コマンド(34 ページ)で変更するときに使うパラメーター名は次のとおりです。

機能	パラメーター	プレフィックス
内線に発信	INTERNAL	4
外線に発信	EXTERNAL	0
内線グループに発信	GRP	8
オペレーターに発信	OPERATOR	9
ピックアップ	PICKUP	6
リダイヤル	REDIAL	7
着信転送設定を解除	CLEAR	50
即時転送をオンに設定	IMMEDIATE	53
話中転送をオンに設定	BUSY	52
不在転送をオンに設定	NOANSWER	54
不在・話中転送をオンに設定	NOREPLY	51
プライベート短縮番号を設定	SETPRIVATE	3
プライベート短縮番号で発信	PRIVATE	1
パブリック短縮番号で発信	PUBLIC	2

表 1:

プレフィックスは1~3桁の数字です。先頭番号が同じプレフィックスはすべて同じ桁数でなくてはなりません。また、プレフィックスを示すパラメーターにNONEを指定すると、そのプレフィックスが表す機能は使えなくなります。

## アナログポートに接続する機器の情報

ISDN には、発呼時にどのような種類の機器が通信しようとしているかを相手に伝える機能があります。これには、呼設定メッセージに含まれる「伝達能力 (Bearer Capability)」、 「高レイヤー整合性 (HLC)」、 「低レイヤー整合性 (LLC)」 情報要素が使用されます。

アナログポートに機器を接続する場合は、SET PBX EXTENSION コマンド(36 ページ)のBCAP、HCLパラメーターで、接続する機器にあった情報を設定してください。

アナログポート「0」に電話機を接続する場合は、次のようにします。

```
SET PBX EXTENSION=0 BCAP=SPEECH HLC=TELEPHONE ↵
```

アナログポート「1」にFAXを接続する場合は、次のようにします。

```
SET PBX EXTENSION=1 BCAP=AUDIO HLC=FAX ↵
```

BCAP、HCL 各パラメーターの指定値と、実際に送信される各情報要素の内容は次のようになります。BCAPパラメーターのデフォルト値はAUDIO、HCLパラメーターのデフォルト値はDEFAULTです。

BCAP パラメーター	HLC パラメーター	伝達能力 IE	LLC IE	HLC IE
SPEECH	DEFAULT	音声	音声	なし
SPEECH	TELEPHONE	音声	音声	電話
SPEECH	FAX	3.1KHz オーディオ	3.1KHz オーディオ	G2/G3 FAX
AUDIO	DEFAULT	3.1KHz オーディオ	3.1KHz オーディオ	なし
AUDIO	TELEPHONE	3.1KHz オーディオ	3.1KHz オーディオ	電話
AUDIO	FAX	3.1KHz オーディオ	3.1KHz オーディオ	G2/G3 FAX

表 2:

## コマンドリファレンス編

### 機能別コマンド索引

#### 一般コマンド

ADD PBX BAR . . . . .	14
ADD PBX EXTENSION . . . . .	15
ADD PBX GROUP . . . . .	17
ADD PBX OVERRIDE . . . . .	18
ADD PBX SHORTCODE . . . . .	19
CREATE PBX EXTENSION . . . . .	20
CREATE PBX GROUP . . . . .	23
DELETE PBX BAR . . . . .	25
DELETE PBX EXTENSION . . . . .	26
DELETE PBX GROUP . . . . .	27
DELETE PBX OVERRIDE . . . . .	28
DELETE PBX SHORTCODE . . . . .	29
DESTROY PBX EXTENSION . . . . .	30
DESTROY PBX GROUP . . . . .	31
DISABLE PBX DEBUG . . . . .	32
ENABLE PBX DEBUG . . . . .	33
SET PBX . . . . .	34
SET PBX EXTENSION . . . . .	36
SET PBX GROUP . . . . .	39
SHOW PBX . . . . .	41
SHOW PBX CALL . . . . .	44
SHOW PBX EXTENSION . . . . .	45
SHOW PBX GROUP . . . . .	48

## ADD PBX BAR

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

**ADD PBX BAR=phone-number**

**phone-number**: 電話番号（1～31 文字）

### 解説

ダイヤルさせたくない電話番号（グローバル発信禁止番号）を設定する。  
本コマンドで設定した禁止番号は、すべてのアナログポートに適用される。

### パラメーター

**BAR** 禁止する電話番号。外線番号の場合は、外線発信番号（デフォルトは「0」）を含める必要がある。厳密には、指定した数字列で始まるすべての番号への発信が禁止されるため、電話番号全体ではなく先頭部分だけを指定することもできる。なお、ADD PBX OVERRIDE コマンドで設定したグローバル優先発信番号は禁止対象から外れる。

### 例

「0990」で始まる番号への外線発信を禁止する。先頭の「0」は外線発信番号

ADD PBX BAR=00990

### 関連コマンド

DELETE PBX BAR（25 ページ）

SHOW PBX（41 ページ）

## ADD PBX EXTENSION

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

```
ADD PBX EXTENSION=extension-number {BAR=phone-number|
  OVERRIDE=phone-number [PRIORITY={NORMAL|HIGH}]|SHORTCODE=index
  NUMBER=phone-number} [NAME=string]
```

***extension-number***: 内線番号 (0~999)

***phone-number***: 電話番号 (1~31 文字)

***index***: 短縮番号 (0~19)

***string***: 文字列 (1~15 文字。空白を含む場合はダブルクォートで囲む)

### 解説

指定したアナログポート (内線) でのみ有効なプライベート発信禁止番号、プライベート優先発信番号、プライベート短縮番号を設定する。

一回の実行では、BAR、OVERRIDE、SHORTCODE のどれかひとつしか設定できない。

### パラメーター

**EXTENSION** 対象となるアナログポートの内線番号

**BAR** ダイヤルさせたくない電話番号。外線発信番号を含めること。番号の先頭だけでもよい。

**OVERRIDE** 優先的に発信を許可する番号を指定する。本パラメーターで指定した優先発信番号は、BAR パラメーターによる発信禁止の影響を受けない。また、PRIORITY パラメーターもあわせて指定できる。

**PRIORITY** 優先発信番号の優先度。HIGH の場合、優先番号への発信は他のどの呼よりも優先され、空きチャンネルがないときは通信中の呼を切断して発信する。NORMAL を指定した場合は、優先度 40 未満のデータ通信に対してのみ優先発信する。

**SHORTCODE** プライベート短縮番号 (0~19)。外線発信番号を含めること。電話機で発信するときは、プライベート短縮発信番号 (デフォルトは「1」) に続けて、プライベート短縮番号を 2 桁で入力する (短縮番号が「1」の場合は「01」とする)。実際にダイヤルする電話番号は、NUMBER パラメーターで指定する。

**NUMBER** プライベート短縮番号に対応する実際の電話番号を指定する。

**NAME** プライベート短縮番号に関するコメント。

### 例

内線 0 番だけで有効な短縮番号「01」(03-1234-5678) を登録する。NUMBER パラメーターの先頭の 0 は外線発信の「0」。

ADD PBX EXTENSION=0 SHORTCODE=1 NUMBER=00312345678

### 関連コマンド

DELETE PBX EXTENSION ( 26 ページ )

SHOW PBX EXTENSION ( 45 ページ )

## ADD PBX GROUP

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

```
ADD PBX GROUP=group-name {BAR=phone-number|OVERRIDE=phone-number
[PRIORITY={NORMAL|HIGH}]}
```

**group-name**: 内線グループ名（1～15 文字。英数字のみ。大文字小文字を区別しない。空白を含む場合はダブルクォートで囲む）

**phone-number**: 電話番号（1～31 文字）

### 解説

内線（アナログポート）グループ全体に有効なグループ発信禁止番号、グループ優先発信番号を設定する。一回の実行では、BAR、OVERRIDE のどちらか一方しか設定できない。

### パラメーター

**GROUP** 内線（アナログポート）グループ名

**BAR** ダイヤルさせたくない電話番号。外線発信番号を含めること。番号の先頭だけでもよい。

**OVERRIDE** 優先的に発信を許可する番号を指定する。本パラメーターで指定した優先発信番号は、BAR パラメーターによる発信禁止の影響を受けない。また、PRIORITY パラメーターもあわせて指定できる。

**PRIORITY** 優先発信番号の優先度。HIGH の場合、優先番号への発信は他のどの呼よりも優先され、空きチャンネルがないときは通信中の呼を切断して発信する。NORMAL を指定した場合は、優先度 40 未満のデータ通信に対してのみ優先発信する。

### 例

内線グループ「joge」に所属するアナログポートから「0990」への発信を禁止する。

```
ADD PBX GROUP=joge BAR=00990
```

### 関連コマンド

DELETE PBX GROUP（27 ページ）

SHOW PBX GROUP（48 ページ）

## ADD PBX OVERRIDE

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

**ADD PBX OVERRIDE=***phone-number* [ PRIORITY={NORMAL|HIGH} ]

***phone-number***: 電話番号（1～31 文字）

### 解説

グローバル優先発信番号を設定する。

本コマンドで設定した優先発信番号は、すべてのアナログポートに適用される。

### パラメーター

**OVERRIDE** 優先的に発信を許可する番号を指定する。本パラメーターで指定した優先発信番号は、ADD PBX BAR コマンドによる発信禁止の影響を受けない。また、PRIORITY パラメーターもあわせて指定できる。

**PRIORITY** 優先発信番号の優先度。HIGH の場合、優先番号への発信は他のどの呼よりも優先され、空きチャンネルがないときは確立中の呼を切断して発信する。NORMAL では、優先度が 40 未満のデータ通信に対してのみ優先発信する。

### 関連コマンド

DELETE PBX OVERRIDE（28 ページ）

## ADD PBX SHORTCODE

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

**ADD PBX SHORTCODE**=*index* **NUMBER**=*phone-number* [**NAME**=*string*]

**phone-number**: 電話番号（1～31 文字）

**index**: 短縮番号（0～999）

**string**: 文字列（1～15 文字。空白を含む場合はダブルクォートで囲む）

### 解説

すべてのアナログポートに共通な短縮ダイヤル番号（パブリック短縮番号）を設定する。

### パラメーター

**SHORTCODE** パブリック短縮番号（0～999）を指定する。実際に指定できる範囲は、SET PBX コマンドの NUMPUBLICDIGITS パラメーター（短縮番号の桁数）の設定によって異なる。ご購入時には NUMPUBLICDIGITS パラメーターは 2（桁）に設定されており、0～99 の範囲で指定できる。パブリック番号を使って短縮ダイヤルするには、パブリック短縮発信番号（デフォルトは「1」）に続けて短縮番号を NUMPUBLICDIGITS に設定された桁数で入力する（短縮番号が 1 で、NUMPUBLICDIGITS が 2 の場合は「01」とする）。実際にダイヤルする番号は、NUMBER パラメーターで指定する。

**NUMBER** 短縮番号に対応する電話番号を指定する。

**NAME** 短縮番号の名前。メモ的に使用する。

### 関連コマンド

DELETE PBX SHORTCODE（29 ページ）

## CREATE PBX EXTENSION

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

```
CREATE PBX EXTENSION=extension-number [AUTODIAL={phone-number|NONE}]
[BCAP={SPEECH|AUDIO}] [CALLINGNUMBER={phone-number|OFF}]
[COPY=extension-number] [DIVERT={NOREPLY|BUSY|IMMEDIATE|NOANSWER|NONE}]
[HLC={DEFAULT|FAX|TELEPHONE}] [GROUP=group-name] [NAME=extension-name]
[NOHLC={ACCEPT|REJECT}] [NUMACCEPT={matching-number|ALL|NOTPRESENT|OFF}]
[NUMBER=phone-number] [PORT={pbx-interface|NONE}] [REBOUND={1..30|NONE}]
[SUBACCEPT={matching-subaddr|ALL|NOTPRESENT|OFF}] [SUPPRESS={1..30|
NONE}] [TERMINATE={0..30|NONE}] [TRANSFER=1..30]
```

***extension-number***: 内線番号 (0~999)

***phone-number***: 電話番号 (1~31 文字)

***group-name***: 内線グループ名 (1~15 文字。英数字のみ。大文字小文字を区別しない。空白を含む場合はダブルクォートで囲む)

***extension-name***: 内線名 (1~15 文字。英数字)

***matching-number***: 電話番号 (1~31 文字。0~9 とワイルドカードの x または X)

***pbx-interface***: アナログポート番号 (0~)

***matching-subaddr***: サブアドレス (1~6 文字。0~9 とワイルドカードの x または X)

### 解説

アナログポートに内線番号を割り当てる。また、各アナログポート固有のパラメーターを設定する。

### パラメーター

**EXTENSION** 内線番号

**AUTODIAL** 自動ダイヤル番号。オフフック (受話器をあげたとき) 時に自動的にダイヤルする番号を指定する。

**BCAP** 発呼時の呼設定メッセージに含める伝達能力 (Bearer Capability) 情報要素の内容を指定する。SPEECH は音声通話を示す「音声 (speech)」, AUDIO はモデムや FAX 通信に適した「3.1kHz オーディオ (3.1kHz audio)」を ISDN 網に要求する。ただし、HLC パラメーターに FAX を指定したときは、本パラメーターの設定は無効となり、伝達能力、低位レイヤー整合性 (LLC) とも 3.1kHz オーディオに設定される。デフォルトは SPEECH。

**CALLINGNUMBER** 発呼時の呼設定メッセージに含める発番号情報要素の内容を指定する。OFF のときは発番号を含めない。デフォルトは OFF。

**COPY** 他のアナログポートの設定をコピーして使いたいときに、雛形とするポートの内線番号を指定する。

**DIVERT** 着信転送を行うかどうか。NOREPLY は、このポートが通話中または一定時間呼び出しても応答しなかった場合に NUMBER パラメーターで指定した番号に転送する。BUSY は、このポートが通話中だった場合にのみ転送する。IMMEDIATE は、着信後ただちに転送する。NOANSWER は、一

転時間応答しなかった場合にのみ転送する。NONE は転送しない。デフォルトは NONE。転送先電話番号は NUMBER パラメーターで指定する。

**HLC** 発呼時の呼設定メッセージに含める伝達能力、LLC (低位レイヤー整合性) HLC (高位レイヤー整合性) 情報要素の内容を指定する。DEFAULT 指定時は、伝達能力と LLC に「音声 (speech)」を設定し、HLC は使わない。TELEPHONE 指定時は、伝達能力と LLC に「音声 (speech)」を設定し、HLC に「電話 (telephony)」を設定する。FAX 指定時は、伝達能力と LLC に「3.1kHz オーディオ (3.1kHz audio)」を、HLC に「G2/3 ファクシミリ (group 2/3 fax)」を設定する。ただし、BCAP パラメーターに AUDIO を指定している場合は、HLC に DEFAULT または TELEPHONE を指定しても、伝達能力、LLC ともに「3.1kHz オーディオ」が設定される。デフォルトは DEFAULT。

**GROUP** このアナログポートが所属する内線グループ。省略時はどのグループにも所属しない状態となる。

**NAME** 内線名称。メモ用。

**NOHLC** 呼設定メッセージに HLC 情報要素が含まれていない着信呼に応答するかどうか。ACCEPT (応答) REJECT (拒否) から選択する。ただし、ACCEPT を指定した場合でも、別の理由で拒否することもあり得る。

**NUMACCEPT** 着信許可番号。このポートで着信する着番号を指定する。着番号には、任意の 1 文字にマッチするワイルドカード「X」または「x」も使用できる。本パラメーターが設定されている場合、着信呼の呼設定メッセージに含まれる着番号情報要素の内容が、指定されたパターンと一致する場合にのみ着信する。ALL を指定した場合はすべて着信、NOTPRESENT を指定した場合は着番号情報要素がない (グローバル着信) ときに着信、OFF を指定した場合は着信しない。デフォルトは OFF。なお、着番号よりも着サブアドレス (SUBACCEPT パラメーター) のほうが優先される。また、ポート単位の設定はグループ単位の設定よりも優先され、完全一致のほうがワイルドカードによる一致よりも優先される。

**NUMBER** 着信転送を有効にしている場合 (DIVERT パラメーターに NONE 以外を指定している場合) の転送先電話番号を指定する。外線発信番号等も含めること。

**PORT** アナログポートの番号。すでに外線番号が割り当てられているポートは指定できない。

**REBOUND** リバウンドタイマー。転送先が応答しなかったときに転送元に再転送 (リバウンド) するまでの秒数を指定する。リバウンドをオフにするには NONE を指定する。デフォルトは 20 秒。

**SUBACCEPT** 着信許可サブアドレス。このポートで着信するサブアドレスを指定する。サブアドレスには、任意の 1 文字にマッチするワイルドカード「X」または「x」も使用できる。本パラメーターが設定されている場合、着信呼の呼設定メッセージに含まれる着サブアドレス情報要素の内容が、指定されたパターンと一致する場合にのみ着信する。ALL を指定した場合はすべて着信、NOTPRESENT を指定した場合は着サブアドレス情報要素がないときに着信、OFF を指定した場合は着信しない。デフォルトは OFF。着サブアドレスは着番号 (NUMACCEPT パラメーター) よりも優先され、ポート単位の設定はグループ単位の設定よりも優先される。また、完全一致のほうがワイルドカードによる一致よりも優先される。

**SUPPRESS** 相手側が呼を切断した後のトーン抑止時間 (秒)。デフォルトは NONE。

**TERMINATE** 外線発信時における自動発呼までの待ち時間 (秒)。外線発信番号をダイヤル後、ここで指定した期間入力がない場合、Q.931 呼設定メッセージが送出される。NONE を指定した場合は自動発呼しないため、電話番号入力後に入力完了を示す「#」をダイヤルする必要がある。デフォルトは NONE。

**TRANSFER** 不在転送を設定している (DIVERT=NOREPLY または NOANSWER) 時に、電話がかかってきてから自動転送するまでの応答待ち時間 (秒)。デフォルトは 20 秒。

関連コマンド

DESTROY PBX EXTENSION ( 30 ページ )

SET PBX EXTENSION ( 36 ページ )

SHOW PBX EXTENSION ( 45 ページ )

## CREATE PBX GROUP

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

```
CREATE PBX GROUP=group-name EXTENSION=extension-number [ HUNT={SEARCH|
NONE}] [ NUMACCEPT={matching-number|ALL|NOTPRESENT|OFF}]
[ SUBACCEPT={matching-subaddr|ALL|NOTPRESENT|OFF}] [ TRANSFER=1..30]
```

**group-name:** 内線グループ名（1～15文字。英数字のみ。大文字小文字を区別しない。空白を含む場合はダブルクォートで囲む）

**extension-number:** 内線番号（0～999）

**matching-number:** 電話番号（1～31文字。0～9とワイルドカードのxまたはX）

**matching-subaddr:** サブアドレス（1～6文字。0～9とワイルドカードのxまたはX）

### 解説

内線グループを作成する。

### パラメーター

**GROUP** 内線グループ名。

**EXTENSION** 代表内線番号。他のグループで使用されている番号は使えない。

**HUNT** 着信時の鳴り分け方式。SEARCHは1台ずつ鳴らす方法で、通話中あるいは一定時間応答がなかった場合はグループ内の別の内線電話に転送する。NONEはすべての電話を一度に鳴らす。デフォルトはNONE。

**NUMACCEPT** 着信許可番号。このグループで着信する着番号を指定する。着番号には、任意の1文字にマッチするワイルドカード「X」または「x」も使用できる。本パラメーターが設定されている場合、着信呼の呼設定メッセージに含まれる着番号情報要素の内容が、指定されたパターンと一致する場合にのみ着信する。ALLを指定した場合はすべて着信、NOTPRESENTを指定した場合は着番号情報要素がない（グローバル着信）ときに着信、OFFを指定した場合は着信しない。デフォルトはOFF。なお、着番号よりも着サブアドレス（SUBACCEPTパラメーター）のほうが優先される。また、グループ単位の設定よりもポート単位の設定が優先され、完全一致のほうがワイルドカードによる一致よりも優先される。

**SUBACCEPT** 着信許可サブアドレス。このグループで着信するサブアドレスを指定する。サブアドレスには、任意の1文字にマッチするワイルドカード「X」または「x」も使用できる。本パラメーターが設定されている場合、着信呼の呼設定メッセージに含まれる着サブアドレス情報要素の内容が、指定されたパターンと一致する場合にのみ着信する。ALLを指定した場合はすべて着信、NOTPRESENTを指定した場合は着サブアドレス情報要素がないときに着信、OFFを指定した場合は着信しない。デフォルトはOFF。着サブアドレスは着番号（NUMACCEPTパラメーター）よりも優先され、ポート単位の設定はグループ単位の設定よりも優先される。また、完全一致のほうがワイルドカードによる一致よりも優先される。

**TRANSFER** 不在転送を設定している (DIVERT=NOREPLY または NOANSWER) 時に、電話がかかってきてから自動転送するまでの応答待ち時間 (秒)。デフォルトは 20 秒。

### 関連コマンド

DESTROY PBX GROUP ( 31 ページ )

## DELETE PBX BAR

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

**DELETE PBX BAR=***phone-number*

***phone-number***: 電話番号（1～31 文字）

### 解説

ダイヤルさせたくない電話番号（グローバル発信禁止番号）を削除する。

### パラメーター

**BAR** グローバル発信禁止番号

### 関連コマンド

ADD PBX BAR（14 ページ）

## DELETE PBX EXTENSION

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

**DELETE PBX EXTENSION=extension-number** [BAR=phone-number]  
[OVERRIDE=phone-number] [SHORTCODE=index]

**extension-number**: 内線番号 (0 ~ 999)

**phone-number**: 電話番号 (1 ~ 31 文字)

**index**: 短縮番号 (0 ~ 19)

### 解説

指定したアナログポート (内線) でのみ有効なプライベート発信禁止番号、プライベート優先発信番号、プライベート短縮番号を削除する。

一回の実行では、BAR、OVERRIDE、SHORTCODE のどれかひとつしか削除できない。

### パラメーター

**EXTENSION** 対象となるアナログポートの内線番号

**BAR** プライベート発信禁止番号

**OVERRIDE** プライベート優先発信番号

**SHORTCODE** プライベート短縮番号

### 関連コマンド

ADD PBX EXTENSION (15 ページ)

## DELETE PBX GROUP

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

**DELETE PBX GROUP**=*group-name* [BAR=*phone-number*] [OVERRIDE=*phone-number*]

**group-name**: 内線グループ名（1～15 文字。英数字のみ。大文字小文字を区別しない。空白を含む場合はダブルクォートで囲む）

**phone-number**: 電話番号（1～31 文字）

### 解説

内線グループ全体に有効なグループ発信禁止番号、または、グループ優先発信番号の設定を削除する。  
一回の実行では、BAR、OVERRIDE のいずれかだけを削除できる。

### パラメーター

**GROUP** 内線グループ名

**BAR** グループ発信禁止番号

**OVERRIDE** グループ優先発信番号

### 関連コマンド

ADD PBX GROUP（17 ページ）

## DELETE PBX OVERRIDE

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

**DELETE PBX OVERRIDE**=*phone-number*

***phone-number***: 電話番号（1～31 文字）

### 解説

すべてのアナログポートに適用されるグローバル優先発信番号を削除する。

### パラメーター

**OVERRIDE**    グローバル優先発信番号

### 関連コマンド

ADD PBX OVERRIDE（18 ページ）

## DELETE PBX SHORTCODE

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

**DELETE PBX SHORTCODE=*index***

***index***: 短縮番号 (0 ~ 999)

### 解説

すべてのアナログポートに共通な短縮ダイヤル番号（パブリック短縮番号）を削除する。

### パラメーター

**SHORTCODE**   パブリック短縮番号

### 関連コマンド

ADD PBX SHORTCODE ( 19 ページ )

## DESTROY PBX EXTENSION

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

**DESTROY PBX EXTENSION=extension-number**

**extension-number**: 内線番号 (0 ~ 999)

### 解説

内線番号を削除する。

### パラメーター

**EXTENSION** 内線番号

### 関連コマンド

CREATE PBX EXTENSION ( 20 ページ )

## DESTROY PBX GROUP

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

**DESTROY PBX GROUP=group-name**

**group-name**: 内線グループ名（1～15 文字。英数字のみ。大文字小文字を区別しない。空白を含む場合はダブルクォートで囲む）

### 解説

内線グループを削除する。

### パラメーター

**GROUP** 内線グループ名

### 関連コマンド

CREATE PBX GROUP（23 ページ）

## DISABLE PBX DEBUG

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

```
DISABLE PBX DEBUG={ALL|COMMAND|COUNTERS|CLID|DRIVER|EVENT|  
REDIRECTEDNUMBER|TRACE}
```

### 解説

PBX のデバッグオプションを無効にする。

### パラメーター

**DEBUG** 無効にするデバッグオプション

### 関連コマンド

ENABLE PBX DEBUG ( 33 ページ )

## ENABLE PBX DEBUG

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

**ENABLE PBX DEBUG**=**{ALL|COMMAND|COUNTERS|CLID|DRIVER|EVENT|**  
**REDIRECTEDNUMBER|TRACE}** [ **PORT**=*asyn-number* ]

**asyn-number**: 非同期ポート番号 (0 ~ )

### 解説

PBX のデバッグオプションを有効にする。

### パラメーター

**DEBUG** 有効にするデバッグオプション

**PORT** デバッグ情報の出力先非同期ポート番号。省略時はコマンドを入力した端末画面に出力される。

### 関連コマンド

DISABLE PBX DEBUG ( 32 ページ )

## SET PBX

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

```
SET PBX [BUSY={prefix-number|NONE}] [CADENCE={BELL|RING|BUSY|DIAL|DTFS|
  DEXT|FSET|UNAV} VALUE=on1,off1,on2,off2,on3,off3] [CLEAR={prefix-number|
  NONE}] [COUNTRY={AUSTRALIA|CHINA|CUSTOM|HOLLAND|JAPAN|KOREA|NEWZEALAND|
  UK|USA}] [DATA={*|#}] [DEBUG={ON|OFF}] [DIAL={OVERLAP|ENBLOC}]
  [DISCONNECT=5..10] [ENCODE={ULAW|ALAW}] [EXTERNAL={prefix-number|NONE}]
  [FLASHHOOKMIN={2..4|OFF}] [GRP={prefix-number|NONE}]
  [IMMEDIATE={prefix-number|NONE}] [INTERDIGIT={1..30|NONE}]
  [INTERNAL={prefix-number|NONE}] [NOANSWER={prefix-number|NONE}]
  [NOREPLY={prefix-number|NONE}] [NUMPUBLICDIGITS=1..3]
  [OPERATOR={prefix-number|NONE}] [OPEXT={extension-number|NONE}]
  [PICKUP={prefix-number|NONE}] [PRIVATE={prefix-number|NONE}]
  [PUBLIC={prefix-number|NONE}] [REDIAL={prefix-number|NONE}]
  [RESERVEBCHANNEL={ON|OFF}] [SETPRIVATE={prefix-number|NONE}]
```

**extension-number**: 内線番号 (0 ~ 999)

**prefix-number**: プレフィックス番号 (1 ~ 3 文字。0-9)

**on1,off1,on2,off2,on3,off3**: 時間 (0 ~ 255。単位は 0.1 秒)

### 解説

PBX モジュールの各種グローバルパラメーターを設定する。

外線発信の「0」などの機能別プレフィックス番号や、ダイヤルトーンなどの音色、国別設定などが可能。

### パラメーター

**BUSY** 通話時転送 (着信ポートが通話中だったときに自動転送する機能) をオンにするための番号。デフォルトは 52

**CADENCE** 音色を調整したいベルやトーンの種別。実際の調子は VALUE パラメーターで指定する。種別には、BELL (着信ベル) RING (呼び出しトーン) BUSY (ビジートーン) DIAL (ダイヤルトーン) DTFS (ダイヤルトーンフィーチャーセット) DEXT (外線ダイヤルトーン) FSET (フィーチャーセット) UNAV (アンアベイラブルトーン) がある。

**VALUE** CADENCE で指定した種類のベルやトーンの音色を「on1,off1,on2,off2,on3,off3」の形式で指定する。onx は発音時間を、offx は無音時間を、それぞれ 0.1 秒単位で指定する。音程は 400Hz (A) 固定。

**CLEAR** 着信転送機能を解除するための番号。デフォルトは 50

**COUNTRY** 国名を指定。各種トーンなどのデフォルト値が指定した国の標準規格に準拠するよう調整される。

- DATA** データ入力終端文字。ダイヤル完了を示す文字で「#」か「\*」から選択する。デフォルトは「#」。
- DEBUG** デバッグ機能の有効・無効
- DIAL** 発呼時のダイヤル方式。OVERLAP（ダイヤルされた数字を1つずつ送る）とENBLOC（ダイヤルされた電話番号全体を1個の呼設定メッセージに入れて送る）がある。デフォルトはENBLOC。
- DISCONNECT** 呼切断までの待ち時間を0.1秒単位で指定する。デフォルトは10（1秒）
- ENCODE** 音声の符号化方式。URAWとARAWがある。デフォルトはURAW。
- EXTERNAL** 外線発信番号。デフォルトは0。
- FLASHHOOKMIN** 保留するためにフックスイッチを押す時間。0.1秒単位で指定する。OFFを指定すると、フックスイッチを押すと同時に切断されるようになる。デフォルトは2（0.2秒）
- GRP** 内線グループ発信番号。デフォルトは8。
- IMMEDIATE** 即時転送機能を有効にするための番号。デフォルトは53。NONEはこの機能を使わないことを示す。
- INTERDIGIT** ダイヤルしなかった場合にUnavailableになるまでの時間（秒）。デフォルトは10秒。NONEを指定すると、いつまでもUnavailableにならない。
- INTERNAL** 内線発信番号。デフォルトは4。NONEを指定した場合は内線通話ができなくなる。
- NOANSWER** 不在転送機能（一定時間内にとらなかった場合に転送。通話中だったときは転送しない）を有効にするための番号。デフォルトは54。NONEはこの機能を使わないことを示す。
- NOREPLY** 不在・通話中転送機能（一定時間内にとらなかった場合に転送。通話中だったときは即時転送）を有効にするための番号。デフォルトは51。NONEはこの機能を使わないことを示す。
- NUMPUBLICDIGITS** パブリック短縮番号の最大桁数。1～3の範囲で指定。デフォルトは2。
- OPERATOR** オペレーター内線に発信するためのプレフィックス。デフォルトは9
- OPEXT** オペレーター内線番号。デフォルトは0
- PICKUP** ピックアップ番号。デフォルトは6
- PRIVATE** プライベート短縮番号（各アナログポート固有の短縮番号）による短縮ダイヤル発信番号。デフォルトは1。NONEはプライベート短縮ダイヤル機能を使用しないことを示す。
- PUBLIC** パブリック短縮番号（全アナログポート共通の短縮番号）による短縮ダイヤル発信番号。デフォルトは2。NONEはパブリック短縮ダイヤル機能を使用しないことを示す。
- REDIAL** リダイヤル番号。デフォルトは7。NONEはこの機能を使用しないことを示す。
- RESERVECHANNEL** 音声通話とデータ通信にBチャンネルを1つずつ予約するかどうか。デフォルトは無効。
- SETPRIVATE** プライベート短縮番号（各アナログポート固有の短縮番号）を設定するための番号。デフォルトは3。NONEはプライベート短縮番号の設定を禁止することを示す。

## 関連コマンド

SHOW PBX（41ページ）

## SET PBX EXTENSION

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

```
SET PBX EXTENSION=extension-number [AUTODIAL={phone-number|NONE}]
[BCAP={SPEECH|AUDIO}] [CALLINGNUMBER={phone-number|OFF}]
[COPY=extension-number] [DIVERT={NOREPLY|BUSY|IMMEDIATE|NOANSWER|NONE}]
[GROUP=group-name] [HLC={DEFAULT|FAX|TELEPHONE}] [NAME=extension-name]
[NOHLC={ACCEPT|REJECT}] [NUMACCEPT={matching-number|ALL|NOTPRESENT|OFF}]
[NUMBER=phone-number] [PORT={pbx-interface|NONE}] [REBOUND={1..30|NONE}]
[SUBACCEPT={matching-subaddr|ALL|NOTPRESENT|OFF}] [SUPPRESS={1..30|
NONE}] [TERMINATE={0..30|NONE}] [TRANSFER=1..30]
```

***extension-number***: 内線番号 (0~999)

***phone-number***: 電話番号 (1~31 文字)

***group-name***: 内線グループ名 (1~15 文字。英数字のみ。大文字小文字を区別しない。空白を含む場合はダブルクォートで囲む)

***extension-name***: 内線名 (1~15 文字。英数字)

***matching-number***: 電話番号 (1~31 文字。0~9 とワイルドカードの x または X)

***pbx-interface***: アナログポート番号 (0~)

***matching-subaddr***: サブアドレス (1~6 文字。0~9 とワイルドカードの x または X)

### 解説

アナログポート (内線) 固有のパラメーターを変更する。

### パラメーター

**EXTENSION** 対象となるアナログポートの内線番号

**AUTODIAL** 自動ダイヤル番号。オフフック (受話器をあげたとき) 時に自動的にダイヤルする番号を指定する。

**BCAP** 発呼時の呼設定メッセージに含める伝達能力 (Bearer Capability) 情報要素の内容を指定する。SPEECH は音声通話を示す「音声 (speech)」, AUDIO はモデムや FAX 通信に適した「3.1kHz オーディオ (3.1kHz audio)」を ISDN 網に要求する。ただし、HLC パラメーターに FAX を指定したときは、本パラメーターの設定は無効となり、伝達能力、低位レイヤー整合性 (LLC) とも 3.1kHz オーディオに設定される。デフォルトは SPEECH。

**CALLINGNUMBER** 発呼時の呼設定メッセージに含める発番号情報要素の内容を指定する。OFF のときは発番号を含めない。デフォルトは OFF。

**COPY** 他のアナログポートの設定をコピーして使いたいときに、雛形とするポートの内線番号を指定する。

**DIVERT** 着信転送を行うかどうか。NOREPLY は、このポートが通話中または一定時間呼び出しても応答しなかった場合に NUMBER パラメーターで指定した番号に転送する。BUSY は、このポートが通話中だった場合にのみ転送する。IMMEDIATE は、着信後ただちに転送する。NOANSWER は、一

転時間応答しなかった場合にのみ転送する。NONE は転送しない。デフォルトは NONE。転送先電話番号は NUMBER パラメーターで指定する。

**HLC** 発呼時の呼設定メッセージに含める伝達能力、LLC（低位レイヤー整合性）、HLC（高位レイヤー整合性）情報要素の内容を指定する。DEFAULT 指定時は、伝達能力と LLC に「音声（speech）」を設定し、HLC は使わない。TELEPHONE 指定時は、伝達能力と LLC に「音声（speech）」を設定し、HLC に「電話（telephony）」を設定する。FAX 指定時は、伝達能力と LLC に「3.1kHz オーディオ（3.1kHz audio）」を、HLC に「G2/3 ファクシミリ（group 2/3 fax）」を設定する。ただし、BCAP パラメーターに AUDIO を指定している場合は、HLC に DEFAULT または TELEPHONE を指定しても、伝達能力、LLC ともに「3.1kHz オーディオ」が設定される。デフォルトは DEFAULT。

**GROUP** このアナログポートが所属する内線グループ。

**NAME** 内線名称。メモ用。

**NOHLC** 呼設定メッセージに HLC 情報要素が含まれていない着信呼に応答するかどうか。ACCEPT（応答）、REJECT（拒否）から選択する。ただし、ACCEPT を指定した場合でも、別の理由で拒否することもあり得る。

**NUMACCEPT** 着信許可番号。このポートで着信する着番号を指定する。着番号には、任意の 1 文字にマッチするワイルドカード「X」または「x」も使用できる。本パラメーターが設定されている場合、着信呼の呼設定メッセージに含まれる着番号情報要素の内容が、指定されたパターンと一致する場合にのみ着信する。ALL を指定した場合はすべて着信、NOTPRESENT を指定した場合は着番号情報要素がない（グローバル着信）ときに着信、OFF を指定した場合は着信しない。デフォルトは OFF。なお、着番号よりも着サブアドレス（SUBACCEPT パラメーター）のほうが優先される。また、ポート単位の設定はグループ単位の設定よりも優先され、完全一致のほうがワイルドカードによる一致よりも優先される。

**NUMBER** 着信転送を有効にしている場合（DIVERT パラメーターに NONE 以外を指定している場合）の転送先電話番号を指定する。外線発信番号等も含めること。

**PORT** アナログポートの番号。すでに外線番号が割り当てられているポートは指定できない。

**REBOUND** リバウンドタイマー。転送先が応答しなかったときに転送元に再転送（リバウンド）するまでの秒数を指定する。リバウンドをオフにするには NONE を指定する。デフォルトは 20 秒。

**SUBACCEPT** 着信許可サブアドレス。このポートで着信するサブアドレスを指定する。サブアドレスには、任意の 1 文字にマッチするワイルドカード「X」または「x」も使用できる。本パラメーターが設定されている場合、着信呼の呼設定メッセージに含まれる着サブアドレス情報要素の内容が、指定されたパターンと一致する場合にのみ着信する。ALL を指定した場合はすべて着信、NOTPRESENT を指定した場合は着サブアドレス情報要素がないときに着信、OFF を指定した場合は着信しない。デフォルトは OFF。着サブアドレスは着番号（NUMACCEPT パラメーター）よりも優先され、ポート単位の設定はグループ単位の設定よりも優先される。また、完全一致のほうがワイルドカードによる一致よりも優先される。

**SUPPRESS** 相手側が呼を切断した後のトーン抑止時間（秒）。デフォルトは NONE。

**TERMINATE** 外線発信時における自動発呼までの待ち時間（秒）。外線発信番号をダイヤル後、ここで指定した期間入力がない場合、Q.931 呼設定メッセージが送出される。NONE を指定した場合は自動発呼しないため、電話番号入力後に入力完了を示す「#」をダイヤルする必要がある。デフォルトは NONE。

**TRANSFER** 不在転送を設定している（DIVERT=NOREPLY または NOANSWER）時に、電話がかかってきてから自動転送するまでの応答待ち時間（秒）。デフォルトは 20 秒。

関連コマンド

CREATE PBX EXTENSION ( 20 ページ )

DESTROY PBX EXTENSION ( 30 ページ )

SHOW PBX EXTENSION ( 45 ページ )

## SET PBX GROUP

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

```
SET PBX GROUP=group-name [EXTENSION=extension-number] [HUNT={SEARCH|
NONE}] [NUMACCEPT={matching-number|ALL|NOTPRESENT|OFF}]
[SUBACCEPT={matching-subaddr|ALL|NOTPRESENT|OFF}] [TRANSFER=1..30]
```

**group-name**: 内線グループ名（1～15 文字。英数字のみ。大文字小文字を区別しない。空白を含む場合はダブルクォートで囲む）

**extension-number**: 内線番号（0～999）

**matching-number**: 電話番号（1～31 文字。0～9 とワイルドカードの x または X）

**matching-subaddr**: サブアドレス（1～6 文字。0～9 とワイルドカードの x または X）

### 解説

内線グループの各種パラメーターを変更する。

### パラメーター

**GROUP** 内線グループ名。

**EXTENSION** 代表内線番号。他のグループで使用されている番号は指定できない。

**HUNT** 着信時の鳴り分け方式。SEARCH は 1 台ずつ鳴らす方法で、通話中あるいは一定時間応答がなかった場合はグループ内の別の内線電話に転送する。NONE はすべての電話を一度に鳴らす。デフォルトは NONE。

**NUMACCEPT** 着信許可番号。このグループで着信する着番号を指定する。着番号には、任意の 1 文字にマッチするワイルドカード「X」または「x」も使用できる。本パラメーターが設定されている場合、着信呼の呼設定メッセージに含まれる着番号情報要素の内容が、指定されたパターンと一致する場合にのみ着信する。ALL を指定した場合はすべて着信、NOTPRESENT を指定した場合は着番号情報要素がない（グローバル着信）ときに着信、OFF を指定した場合は着信しない。デフォルトは OFF。なお、着番号よりも着サブアドレス（SUBACCEPT パラメーター）のほうが優先される。また、グループ単位の設定よりもポート単位の設定が優先され、完全一致のほうがワイルドカードによる一致よりも優先される。

**SUBACCEPT** 着信許可サブアドレス。このグループで着信するサブアドレスを指定する。サブアドレスには、任意の 1 文字にマッチするワイルドカード「X」または「x」も使用できる。本パラメーターが設定されている場合、着信呼の呼設定メッセージに含まれる着サブアドレス情報要素の内容が、指定されたパターンと一致する場合にのみ着信する。ALL を指定した場合はすべて着信、NOTPRESENT を指定した場合は着サブアドレス情報要素がないときに着信、OFF を指定した場合は着信しない。デフォルトは OFF。着サブアドレスは着番号（NUMACCEPT パラメーター）よりも優先され、ポート単位の設定はグループ単位の設定よりも優先される。また、完全一致のほうがワイルドカードによる一致よりも優先される。

**TRANSFER** 不在転送を設定している (DIVERT=NOREPLY または NOANSWER) 時に、電話がかかってきてから自動転送するまでの応答待ち時間 (秒)。デフォルトは 20 秒。

#### 関連コマンド

SHOW PBX GROUP (48 ページ)

## SHOW PBX

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

### SHOW PBX

#### 解説

PBX モジュールのグローバルな設定情報を表示する。

#### 入力・出力・画面例

```

Manager > show pbx

PBX Module Configuration

General
Country ..... Japan
Encode ..... ulaw
Dial ..... enbloc
Interdigit ..... 10
Opext ..... 0
Data ..... #
LCR ..... Disabled

Prefixes:
Internal ..... 4          Clear ..... 50          Public ..... 2
External ..... 0          Noreply ..... 51         Private ..... 1
Grp ..... 8              Busy ..... 52           SetPrivate ..... 3
Operator ..... 9          Immediate ..... 53       Redial ..... 7
Pickup ..... 6           NoAnswer ..... 54

Cadence:
Bell ..... 10 20 0 0 0 0
Dial tone external ..... 10 0 10 0 10 0
Ring ..... 10 20 10 20 10 20
Busy ..... 5 5 5 5 5
Dial ..... 2 3 2 3 2 3
Dial tone feature set ..... 1 1 1 1 1 1
Unavailable ..... 8 2 8 2 8 2
Feature set ..... 1 4 1 4 1 4

Barred Number(s):
external      0 0990

Override Number(s):                                Priority
external      0 110                                high

```

external	0 119	high
Shortcode Number(s):		Name
01 external	0 0354321012	Office
99 external	0 0486543210	Home

General セクション	全般的な設定情報が表示される
Country	国名。Japan、UK、Holland、Australia、New Zealand、USA、China、Korea、custom のいずれか
Encode	音声の符号化方式。ulaw か alaw
Dial	発呼時のダイヤル方式。overlap (1文字ずつ) か enbloc (すべてまとめて送信)
Interdigit	ダイヤルしなかった場合に Unavailable になるまでの時間 (秒)
Opext	オペレーターの内線番号
Data	データ入力終端文字。ダイヤル完了を示す文字でデフォルトは「#」
CPN Forwarding	非同期ポートに接続された PBX に送るメッセージのフォーマット。Omnicom か Other。CPN 転送機能が有効なときだけ表示される
LCR	LCR (Least Cost Routing) を使用しているかどうか
Centrex (NZ Telecom)	NZ Telecom Centrex 機能のオン・オフ。Country が NewZealand に設定されているときだけ表示される
Prefixes セクション	各種機能に割り当てられたプレフィックス番号
Internal	内線発信番号
External	外線発信番号
Grp	内線グループ発信番号
Operator	オペレーター内線への発信番号
Pickup	ピックアップ番号
Clear	着信転送機能の解除番号
Noreply	不在・通話中転送機能の設定番号
Busy	通話中転送機能の設定番号
Immediate	即時転送機能の設定番号
NoAnswer	不在時転送機能の設定番号
Public	パブリック短縮番号 (全ポート共通の短縮番号) による発信番号
Private	プライベート短縮番号 (各ポート固有の短縮番号) による発信番号
SetPrivate	プライベート短縮番号 (各ポート固有の短縮番号) の設定番号
Redial	リダイヤル番号
Cadence セクション	トーンやベルの音色設定が表示される
Bell	着信ベル
Dial tone external	外線ダイヤルトーン。外線発信番号を押したあとに聞こえる音 (ブー)
Ring	呼び出しトーン (ブルルルルル)
Busy	ビジートーン (ブーッ、ブーッ)

Dial	ダイヤルトーン（ブブブブブ）
Dial tone feature set	転送等の機能を設定したときのダイヤルトーン
Feature set	転送等の機能を設定するとき（？）のトーン
Barred Number(s)	グローバル発信禁止番号リスト。番号ごとに、外線( external )・内線( internal )の区別、プレフィックスおよび番号が表示される
Override Number(s)	グローバル優先発信番号リスト。番号ごとに、外線( external )・内線( internal )の区別、プレフィックスおよび番号が表示される
Priority	グローバル優先発信番号の優先度。normal か high
Shortcode Number(s)	パブリック短縮番号（全ポート共通の短縮ダイヤル番号）。番号ごとに、短縮番号、外線（ external ）・内線（ internal ）の区別、プレフィックスおよび番号が表示される
Name	パブリック短縮番号に対するメモ的名前

表 3:

## 関連コマンド

SET PBX（34 ページ）

## SHOW PBX CALL

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

SHOW PBX CALL

### 解説

通話中の呼に関する情報を表示する。

発信呼では着番号が、着信呼では発番号（Q.931 呼設定メッセージから取得できた場合）が表示される。

### 入力・出力・画面例

```
Manager > show pbx call
Orig. number      Dest. number      Held Number      State      Duration
-----
      No active calls found
-----
```

Orig. number	発番号
Dest. number	着番号
Held Number	保留中の外線または内線番号
State	呼の状態。connected（接続済み）または alerting（呼び出し中）
Duration	通話時間

表 4:

## SHOW PBX EXTENSION

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

**SHOW PBX EXTENSION**[=*extension-number*]

***extension-number***: 内線番号 (0~999)

### 解説

アナログポート (内線) 固有の情報を表示する。

### パラメーター

**EXTENSION** 内線番号。省略時はすべての内線の情報が表示される。

### 入力・出力・画面例

```
Manager > show pbx extension=1

Extension: 1
  Type ..... system configured
  Name ..... Extension 1
  Port ..... 1
  Suppress ..... 0
  Auto terminate ..... 0
  Group ..... default
  Divert ..... none
  Number ..... not set
  Rebound ..... 20
  Accept number ..... off
  Accept subaddress ..... off
  I-Number ..... off
  Calling Number ..... off
  Transfer ..... 20
  Bearer Cap ..... 3.1kHz audio
  Autodial ..... none
  HLC ..... default
  No HLC ..... accept
  Call Waiting ..... off
```

Extension	内線番号
Type	内線の種類。system configured (デフォルトで存在する内線)、user configured (ユーザーが定義あるいは変更したもの) のどちらか

Name	内線名称
Port	内線番号に対応するアナログポート番号
Suppress	呼切断後、Unavailable トーンを流すまでの待ち時間（秒）
Auto terminate	ダイヤル方式が Enbloc モードのとき、電話番号の入力後、呼設定メッセージを送出するまでの時間（秒）。0 のときは、データ入力終端文字（デフォルトは「#」）を入力するまで発呼しない
Group	このアナログポート（内線）が所属する内線グループ
Divert	着信転送の設定。noreplay(不在・通話中転送) busy(通話中転送) immediate (即時転送) noanswer (不在時転送) none (転送しない) のいずれか
Number	転送先電話番号。未設定時は not set と表示される
Rebound	転送先が応答しなかった場合に転送元に再転送（リバウンド）するまでの秒数
Accept number	応答する着番号のパターン。all はすべての呼に応答、not present は着番号情報要素がない呼に応答、none はいずれの呼にも応答しないことを示す
Accept Subaddress	応答するサブアドレスのパターン。all はすべての呼に応答、not present はサブアドレス情報要素がない場合に応答、none はいずれの呼にも応答しないことを示す
Calling Number	該当ポート（内線）から発呼するときの発番号。未設定時は off
Transfer	転送タイマー。不在転送モードにおける、転送までの待ち時間
Bearer Cap	呼設定メッセージの伝達能力情報要素で ISDN 網に要求する回線品質。speech (音声) または 3.1KHz audio (3.1kHz オーディオ) のどちらか
Autodial	自動ダイヤル番号。オフフック（受話器をあげたとき）時に自動的にダイヤルする番号。未設定時は none
Bar Number(s)	このアナログポートでのみ有効な発信禁止番号（プライベート発信禁止番号）の一覧。番号ごとに、外線（external）・内線（internal）の区別、プレフィックス、番号が表示される
Override Number(s)	このアナログポートでのみ有効な優先発信番号（プライベート優先発信番号）の一覧。番号ごとに、外線（external）・内線（internal）の区別、プレフィックス、番号が表示される
Priority	プライベート優先発信番号の優先度。normal か high
Shortcode Number(s)	プライベート短縮番号（このアナログポートでのみ有効な短縮ダイヤル番号）の一覧。番号ごとに、短縮番号、外線（external）・内線（internal）の区別、プレフィックス、番号が表示される
Name	プライベート短縮番号に付けたメモ的な名前

表 5:

## 関連コマンド

CREATE PBX EXTENSION ( 20 ページ )

DESTROY PBX EXTENSION ( 30 ページ )

SET PBX EXTENSION ( 36 ページ )

## SHOW PBX GROUP

カテゴリー：アナログ機能 / 一般コマンド

対象機種：AR300 V2

**SHOW PBX GROUP** [=group-name]

**group-name**: 内線グループ名（1～15 文字。英数字のみ。大文字小文字を区別しない。空白を含む場合はダブルクォートで囲む）

### 解説

内線グループの情報を表示する。

### パラメーター

**GROUP** 内線グループ名

### 入力・出力・画面例

```
Manager > show pbx group

Group: default
  Extension ..... 0
  Accept number ..... all
  Accept subaddress ..... off
  Hunt ..... none
  Transfer ..... 20

  Extension List ..... 0      1

  Bar Number(s):
    external      0 0990
```

Group	内線グループ名
Extension	代表内線番号
Accept number	応答する着番号のパターン。all はすべての呼に応答、not present は着番号情報要素がない呼に応答、none はいずれの呼にも応答しないことを示す。 Subaddress number
Hunt	着呼時の鳴り分け方式。search（1 台ずつ順に鳴らす）、none（すべての電話を一度に鳴らす）
Transfer	転送タイマー。不在転送モードにおける、転送までの待ち時間

Extension List	グループに所属する内線番号の一覧
Bar Number(s)	グループ固有の発信禁止番号リスト（グループ発信禁止番号）の一覧。番号ごとに、外線（external）・内線（internal）の区別、プレフィックス、番号が表示される
Override Number(s)	グループ固有の優先発信番号（グループ優先発信番号）の一覧。番号ごとに、外線（external）・内線（internal）の区別、プレフィックス、番号が表示される
Priority	グループ優先発信番号の優先度。normal か high

表 6:

## 関連コマンド

SET PBX GROUP (39 ページ)